



七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校

No. 11

平成22年 9月13日

大成功！ 全員でよく働いた「生徒の集い」



8月28日（土）白石市ホワイトキューブにおいて、平成22年度 第38回 宮城県高等学校定時制通信制 生徒の集い が開催されました。今年度は本校が担当になりました。

午前中には「もう一つの定体連」と称して、参加した14校約90名の生徒を仙北・仙台・仙南の三地区に分けての地区対抗運動会



が行われました。運営は全てを本校生徒で行いました。最初こそ、ややもたつきましたが、次第に手際よく運営出来るようになり、他校の先生からもお褒めの言葉を頂戴しました。また、運動会そのものも非常に盛り上がり、特に竹取物語や地区対抗リレーでは観客も必死に応援していました。

続いて午後には、七ヶ宿町の芭蕉庵の店主である山田益弘さんを講師に、約100名が

蕎麦打ちを体験しました。講師の山田さんにとっても100名を相手の蕎麦打ち講習は初めての経験だったそうですが、本校のアシスタントの諸君も各テーブルの作業を手早く親切に手伝い、予定時間よりはるかに早く蕎麦打ちが終わりました。



また、昼休みには、アトラクションとして、本校生徒のバンド演奏が行われ、参加者の皆さんに楽しんで頂きました。またアトラクション担当の諸君は、閉会式でも活躍しました。



管原 加寿美（3年 七ヶ宿中出身）

私は司会だったのでみんなをまとめられるか心配でしたので開会式では緊張しながら進行をしました。みんなが静かに話を聞いてくれよかったです。そして運動会が始まり、最

初はなかなかうまくできませんでしたが、だんだん慣れてきて、いいタイミングでアナウンスできるようになりました。永井先生からも「うまくなったなあ」と褒められ嬉しかったです。

午後は閉会式まで仕事がなかったので、そば打ちを見ていたら、私は新聞記者から取材を受けました。

そして閉会式。ここでも私が司会でしたが、なんとか最後まで司会をすることができたと

定時・通信制高校の生徒が交流の集い
白石市の市文化体育活動センターで28日、県内の高校の定時制、通信制で学ぶ生徒の「集い」が開かれ、ムカデ競走などの競技を楽しんだ。写真。

普段は仕事をしながら学んでいる生徒たちが同じ場所で開催することで交流し、親交を深めるのが目的。今回は白石高校七ヶ宿校が担当。

参加者は「仙台」「仙北」「仙南」の3地区に分かれ、地区ごとに得点を競った。ムカデ競走では足をひもで結んだ5人が一組となり、「ゴールを目指し」「早い、早い」と歓声も飛んでいた。

当日として企画、県内14校の計約120人が参加した。

休日	夜間診療	案内	午後7時～翌日午前
テニスコート	午前9時～午後5時	市内	022・216・9960
仙台台	午前9時～午後5時	近郊	022・216・9970
仙北	午前9時～午後5時	市南	0224・53・3409
仙南	午前9時～午後5時	北巻	0229・24・2267
		沼	0225・95・3290
		気	0226・24・2154

〈ホームページ〉 <http://www.pref.miyagi.jp/iryuu/subindex03.htm>

(朝日新聞)

思います。私は、初めて最初から最後まで司会をしたのですが、上手くいったなあと思いました。

そして、無事生徒の集いが終わり、後片付けをしました。後片付けでは、大河原商業高校のみなさんが手伝ってくれて、しかもみんな協力をしたことで、素早く後片付けができたと思います。 ↓ (河北新報)

県内の定時制・通信制の高校で学ぶ生徒が、学校や地域の枠組みを超えて交流を深める「生徒の集い」が28日、白石市鷹であった。

定時制・通信制生徒 学校や地域の枠を超えて交流
14校参加 白石で集い

和気あいあいとそば打ちを体験する参加者たち

計14校の合わせて約100人が参加し、各地の

果西のホワイトキューブ

全国大会出場 応援ありがとうございました

8月13日(金)～15日(日)東京の国立競技場において、全国高等学校定時制通信制陸上競技大会が開催され、本校からは県大会を勝ち抜いた、我妻直人(3年 白石東中出身 走り高跳び)、日下隆洋(2年 七ヶ宿中出身 800m・1600mリレー)、日下旺(1年福岡中出身 走り幅跳び)が出場しました。



残念ながら3名とも予選突破は出来ませんでしたが、日下旺君は県大会で出した自己ベストを上回る5m10を記録しました。

8月26日(木)の始業式で行われた全国大会報告会で、3名は応援して下さいった皆さんに感謝するとともに、来年も全国大会に出場し、今度こそ是非予選を突破したい、と抱負を語りました。

